

義務教育学校の設立に向けて⑤ (仮称)上石津学園検討プロジェクト第 二回ワークショップを開催しました。

上石津まちづくり協議会

〇二回目のワークショップを 開催

(仮称)上石津学園検討プロジェクトでは、義務教育学校の設立に向けた様々な課題についてワークショップと会議を開き、意見の整理を行っています。

令和三年十月二十二日(金)には、第二回のワークショップを開催しました。今回のワークショップでは、「①地域による学校への支援のあり方」、「②校舎外の環境整備」、「③通学路(スクールバス)について」の三項目についてメンバー五十人が六グループに分かれて討議しました。

「①地域による学校への支援のあり方」は、教科学習への支援、*いそむく*学習への支援、



進路(キャリア)学習への支援の三つについて地域がどのように関わることができるかを考えるものです。各小学校で現在取り組んでいる地域学習や、教科学習に協力できる体制づくりなどについて広く意見が出されました。

「②校舎外の環境整備」に

ついては、現在のの上石津中学校に設立が予定されている義務教育学校について、小学校低学年から中学生までが、快適に学校生活を送るために必要な校舎の外の環境整備について、メンバーから多くの提案がありました。子どもの安全を第一に通学道路の整備やセキュリティ対策、ボランティアでの環境保全など、真剣な議論が行われました。

今回のワークショップでも時間をかけて話し合ったのは、「③通学路(スクールバス)について」です。メンバーは、まず基本的な考え方の整理を行いました。きめ細かい送迎、効率的な運行、体力の維持向上など、各メンバーが重点を置くのはどんな観点なのかをテーブルに置かれた紙にシートを張って確認しました。

その後、具体的な改善点や問題を学校区ごとに分けられた地図に記入。バス停の位置や交通量、児童が歩く距離等を話し合いながら、付箋に書いた意見を貼り付けていきました。



地図にはたくさんの意見が貼られています

二回目のワークショップとなった今回は、メンバー同士の打ち解けた様子も見られました。学校に対する地域の関わり方が重要となる難しいテーマでしたが、どのグループも熱のこもった意見交換となりました。

ワークショップで提案された意見は、十一月九日に開かれた第三回プロジェクト会議で検討を重ね、教育委員会が主催する総務部会、教育課程部会に意見が届けられます。

上石津まちづくり
協議会HP
QRコード

